

《スケート場使用における留意事項》

○リンク使用上の留意事項

県立スケート場より、ながぐつホッケー使用後のリンクに砂などが残りスケート靴で使用する際に危険なため、対処するよう指導があったことから、以下の対応を行う。

- ・長靴の手入れを徹底すること（ソールの汚れ落とし）
- ・別添箇所図の赤色部分でながぐつに履き替えること
- ・試合前にリンク側にある水の貼ったタライでソールを洗淨・拭き取りした後、リンクに上がること（水の貼ったタライはスケート場で準備）

○連盟道具の保管場所について

前シーズンから他の競技団体と同様に食堂側の部屋に置くこととなっている。試合前および終了後の搬出入について、責任・サポートチームを中心に、各チームからの協力を依頼する。

○ゴール片付け時の注意点

終了時にゴールをリンクから片付ける（上げる）際、氷に固定するための尖っている部分（2カ所）を、ホッケーリンク側に向けず、スピードスケート側に向けて置くようお願いします。

《運営体制》

○リーグ戦の運営体制について

- (1) 責任・サポートチームは、タイマー、ストップウォッチ、フラッグ、防具・カメラ、三脚、延長コード設置、ゴールの設置を協力して行う。
- (2) ビデオカメラのは、カメラ担当で3台設置する。各チームは設置方法を理解するビデオ担当を必ず置くこと。
- (3) 責任チームは、7：45頃に全チーム代表者を集め、対戦表や役割等を確認し、連絡事項があれば伝える。【代表者会議の開催】
- (4) 事務局が各チームへ連絡事項がある場合は、試合前に会場で責任チームへ伝達する。
- (5) 第1試合の主審は、試合開始の5分前に練習を終了させ、副審、ラインズ、記録、カメラ、タイマーの配置を確認する。

- (6) 責任・サポートチームは後片付けをする。最終試合チームまたは練習・体験試合参加者もゴール撤収等を協力して行う。
- (7) 試合の運営、審判の判定等協議が必要な場合は、事務局へ連絡する。
- (8) 試合記録は、広報班のいるチーム（J Pまたはにゃんこ）へ渡す。

《競技上の留意事項》

○競技ルールの徹底

昨今、各プレイヤーの技術力向上に伴い、接触プレーが多くみられます。「怪我なく楽しく子どもから楽しめる」ながぐつホッケーの原点を再認識し、各プレイヤーは、今一度「ながぐつホッケーRULEBOOK」・「秋田県ルールおよび解釈・補足集」を熟読してください。（連盟ホームページに公開）

○審判部門の厳格化とジャッジの標準化

- (1) 審判は厳格な立場であるため、担当する者はルールブック等の内容を確実に把握するとともに、ゲーム中の立ち位置、ラインズマンへの目配りなどにより、広い視野で反則行為等の見落としががないよう努め、特に接触プレーに関しては、厳正に対処をお願いします。
- (2) 審判部での情報共有と意思疎通により、各審判のジャッジおよび判断基準の標準化に努めてください。
- (3) 試合中における審判への過度なアピールは、不平不満とみなし、「暴言等（不平不満等も含む）」として、マッチペナルティの対象となります。ルール上、キャプテン（1番）のみ、30秒以内の質問・確認は可能です。
- (4) 副審は試合開始前と終了後にゴール裏のビデオカメラの電源のオン、オフを行い。主審はその確認をしてください。
- (5) 秋田県ルールおよび解釈・補足集の改正（パスオフサイド、アイシング、ハイスティックについて釧路町ルールの採用）
- (6) 審判講習を兼ねた試合

○ヤングプレイヤーへの対応

プレー経験の浅い選手（ヤングプレイヤー（以下「Y P」という）、経験3年目までの選手）には、ヘルメットは「緑」を着用させてください（ただし、ジャッジを甘くすることはありません）。Y Pは、緊張や戸惑いをもって参加します。リンク周囲からも温かいサポートをお願いします。

○不戦敗の取扱いについて

集団感染等のやむ得ない事情で5人未満となる場合、原則不戦敗となりますが、事前に事務局に連絡があれば、別日の空いてる日程等で調整を検討します。各チームは不足することがないように、チーム内での参加調整に努めてください。

○一般参加等の体験生の取扱いについて

一般参加等による体験生について、体験会や体験枠でのプレーだけでなく、リーグ戦への参加希望があった場合で、なるべく既存チームとのマッチングを行うが所属チームが決まらない場合については、1シーズンに限り、どのチームで出場しても良いこととする。

○ながホ体験デーの開催について

昨年から一般参加向けにも呼びかけをしているながホ体験会について、今年度も以下のとおり開催する。

日時：令和6年11月4日（月）10：00～12：00（受付9：30～）

※リンク予約は、連盟負担で8：30から借りているため、体験デーのスタッフ等は、8：30～9：45までの練習を可能とする。

※一般体験生、各チームの1年目、体験者等のあっせん者やスタッフのほか、2年目の定着支援等にも活用ください。